



目的別 / 1日研修

Revised

管理職のための ハラスメント対応法 & メンタルヘルス研修

誰もが快適にすごせる
職場環境をつくる

➤ 本研修の概要とねらい

- ①ハラスメントの種類を学び、日常業務の中で注意が必要なハラスメントの定義・概念を習得する。
- ②ハラスメントとは思われないための人材育成方法、指導方法を習得する。
- ③メンタルヘルス不調の職員を生み出さないための早期発見方法と、対応の基本的な流れを習得する。
- ④部下との対話スキルや怒りのコントロールの仕方などの、総合的なマネジメント力向上のためのスキルアップをめざす。

➤ 主なコンテンツ

ハラスメントのグレーゾーンの把握、管理監督者に必要な自己のストロークパターン、周りの空気を読めない態度を改める、管理職に必要なラインケア、メンタルヘルス不調の職員への関わりでの注意点など(詳細は裏面のタイムテーブルをご確認ください)

➤ 演習/実習の内容

【ワーク】

怒りを我慢ではなく、コントロールするための方法を体験的に習得する。

➤ 受講対象(推奨)

管理職員

➤ 講師からの一言

人生で大事なもの“時間”を皆さんと共有していることを喜び、そして大切にしています。接遇、マナーでは、知識や技能だけにとらわれず、お客様との心の絆を深める想いの伝え方を受講者の方々と一緒に考えさせていただいています。楽しみながら、学びましょう。身につけましょう。



一般社団法人 日本経営協会講師
吉海江 久実代(よしかい えくみよ)

アイク株式会社にて入社不動産担保ローンの営業事務を担当。

その後、区民センターでのセミナー講師、病院での窓口勤務、独立行政法人勤務を経て、現在は窓口対応・接遇研修をはじめとするコミュニケーション研修を得意として活躍中。

接遇研修・クレーム対応研修・プレゼンテーション研修・コミュニケーション研修・ビジネスマナー研修・覆面調査・メンタルヘルス研修・ハラスメント研修・部下指導研修・パソコン研修・新人研修・ネイル 等のテーマで出講中。

本講師の他の研修

- a. プレゼンテーション
- b. 情報リテラシー
- c. 窓口対応
- d. 第一印象向上

ハラスメント対応法 & メンタルヘルス研修

1日研修タイムテーブル案

研修テーマ	主なコンテンツ
オリエンテーション 1. ハラスメントとは何か ①ハラスメントの種類と問題の本質 ②ハラスメントのグレーゾーンの把握 ③ハラスメント防止のための法的アプローチ 2. パワハラ・セクハラについて ①無自覚パワハラと無自覚セクハラ ②ハラスメントの基本的概念と種類 ③公務職場のパワハラの実態と起こった事例 ④ハラスメントが疑われる時の判断基準	☞アイスブレイキングと、研修の意義目的の共感共有 ☞(座学)(グループワーク) ハラスメントの概念を、行政での事例をあげながら解説を行います。法的なアプローチをする。 ☞(座学)(ペアワーク)(チェックリスト) ハラスメントの基本的知識を習得し、事例を中心に、なぜ起こってしまったのか、その原因追求と対処法を学ぶ。
昼食	
3. 管理監督者として自発的相談促進する為に ①カウンセリングマインドを発揮する姿勢 ②話を聴く(カウンセリング)基本姿勢 ③効果的な聴き方(コーチング) ④管理監督者に必要な自己のストロークパターン 4. 怒りをコントロールする ①周りの空気を読めない態度を改める ②怒りの感情とうまくつきあう方法 ③怒りの衝動・思考・衝動をコントロールする 5. メンタルヘルスケアの意義 ①メンタルヘルス不調の影にハラスメントあり ②早期発見の重要性と発見のポイント ③誰もが必要なセルフケア ④管理職に必要なラインケア ⑤メンタルヘルス不調の職員への関わりでの注意点 □研修総括とまとめ	☞(座学)(グループワーク) メンヘル不調の早期発見のために、少しの変化を見逃さないよう、相談しやすい雰囲気づくりを学ぶ。 ☞(座学)(グループワーク) 怒りを我慢ではなく、コントロールするための方法を、ワークを通して体験的に習得する。 ☞(座学)(グループワーク) ハラスメントを正しい対処法を学び、メンタルヘルス不調者を出さないようにする。そのための職場作りと、また不調になった職員に対するケアの方法と関わり方を知る。

■本研修を受講した研修生の感想

- ◆基本的なところからしっかりと教えていただけて良かったです。
- ◆怒りをコントロールする方法などすぐに役立つスキルが学べたのが良かった。早速実践したい。

■本研修コーディネーター担当者からのワンポイントメッセージ

- ◆ペアワーク、グループワークを多く取り入れ、座学・理論に終わらない研修とします。

本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人 日本経営協会 関西本部
 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センタービル)
 電話 06-6443-6925 FAX 06-6441-4319 URL <http://www.noma.or.jp>